

(学校用)

様式 A-1

平成28年 1月 7日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 千葉市立千葉高等学校・太田 和広
2. 講師氏名: Gopalakrishnan KUMAR
3. 同行者氏名: 小林 拓朗
4. 実施日時: 平成27年12月22日 (火) 13:00 ~ 15:00
5. 参加生徒: 1年生 40人、 2年生 63人、 \_\_\_年生 \_\_\_人 (合計 103人)  
備考: (例:理数科の生徒) 理数科の1・2年生とSSHコース選択の2年生
6. 講演題目: (英文) Development of thermoelectric generation, now and future  
(和文)
7. 講演概要: ・講師の自己紹介(出身地インドの文化・日本とインドの学校制度の違いなど)  
・講師の研究者になった経緯と過程  
・講師の研究について(なぜ現在の研究しているか、なぜこれから必要性があるかなどについて分かりやすく説明してくれた)
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 95分 質疑応答時間 15分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講演、簡単な実験を行った。
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
質疑応答時に同行者によるサポートがあった
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: